

英語を楽しく

No. 120

27, July

☆ 言いたいことを強調する

“I love you.” この文、さらりと言っただけでは、彼女は“Yes.”なんて言ってくれない。やはり、彼女の心に響く言い方の工夫が。そこで、思いつくのは、

- ① I love you very much. very much.をつけて強く言う。
- ② I love only you. I only love you. only you (君だけを) I only (僕だけが) 君を愛しているには僕なんだ。
- ③ It is I that love you. } 強調文 僕が愛しているのは君なんだよ。
It is you that I love. } (下線を強めている)
- ④ I'm crazy about you. 君に夢中なんだ。
(～に夢中です) (好きで好きでたまらないと言うときに使う。)
- ⑤ I can't sleep a wink without you. 君無しでは一睡もできないよ。

④⑤は、まあ話のタイミングが特に必要と思いますが。

強調する言い方を使うのも大切ですが、やはり “I love you.” だけでも強く、また場合によれば何回も。 “I love you.” “I love you.” “I love you.” でも「過ぎたるは、-----。」のことわざもあるし。ま、誠実さが一番。

☆ 一つのことを言うのでも、いろんな言い方があるけれど

例えば「お誕生日はいつ？」 とたずねる場合

- ① When is your birthday? 日常普通に使われている英語
- ② When were you born?
- ③ Would you mind telling me your birthday? 歳をきかれる人に申し訳ですが、教えてください、といった気持ちで使う。
- ④ What is your date of birth? 書類などを作成するために事務的な言い方

などができますが、①～④までを使い方を区別して言うことは難しいですね。

でも、英語の文がどんなのであろうと、

{いいかた} つまり、丁寧に言うか、偉そうに言うか、はたまた 冗談めいて言うかどうか、によって 文の感じ、聞く側の受ける感じは、ちがってくるもの。

どんな文であれ「心をいっぱい込めて」言うことが、どんな文よりも勝ると思っています。

“Excuse me, but will you tell me your birthday?”

の方がいいけど、だれにも優しい

彼女のことだ。きっと何か私のために何か考えて言ってくれているのに違いない。

(「うれしいな。」「はい、July, 27th.です。」

“ July 27th is.”

“ Please say your birthday.”



Yoshi